

## 採択プロジェクト決定！！



### A 部門

#### 東北復興支援プロジェクト

代表者：社会福祉学科  
岡田 恵眞

2年前に発生した東日本大震災の風化を防止すること、原発の影響により問題となっている食物の風評被害に対する意識改革を行うことを目的に山口で“私たちにできること”を考え、地域や学内、市内の高校生にボランティア活動を行うきっかけ作りとなるような企画を実現させる。プロジェクトを行うにあたってメンバーが学ぶだけでなく、学んだことを学外へ発信することを目的とした企画を行うことで、東北の現状に関する情報共有を行い、知識を深めるとともに、学内の学生や高校生、地域の方々とのつながりを構築する。

#### YPU SWEETS PROJECT

代表者：栄養学科  
山下 紗緒里

現在、山口県立大学にあるお菓子、YPUクッキーは大学内の学生が実習の手土産として利用しているが、賞味期限が短い、一定の品質が保てない、大量生産が難しいといった問題点がある。また、販売場所も大学内に限定されており、大学のPRの幅が限られている状態である。現状を知り、私たちはこれらの問題点を改善する必要性があると感じた。そこで、新たな企業と連携して大学のPRとなるようなお菓子を開発し、県内での販売を目指す。

#### 地域につながりをもたらす「犬カフェ」プロジェクト

代表者：文化創造学科  
加藤 史織

ペットと共に暮らすことで、特にひとり暮らしの高齢者には「癒し」の効果もたらされると言われており、高齢化が進むこれからの山口にとってペットの存在はますます大きくなっていくものと考えらる。こうした背景から、本プロジェクトでは「人も犬も食べられるお菓子」を試作、同お菓子のお披露目の意味で宮野地域の公園を会場に周辺住民がペットを連れて集まる「犬カフェ」を開催。「犬」をテーマにすれば会話が弾むので、大学生と地域の皆さんとの交流の機会になると考えている。「犬カフェ」にて、地域の方の笑顔を受犬と共に撮影・コラージュし、宮野駅などに掲示。宮野地域の繋がりを深めたい。

#### YPU マーケット

代表者：文化創造学科  
西谷 小夜

学生や地域の人の家にある、使わないもの、いらぬものを提供してもらい、大学でフリーマーケットを開催。地域の人々が気軽に大学へ来れる。そして、同時に宮野で作られた野菜などを使ったお弁当を販売し、地域の人々と協力して商品を開発し喜びを分かち合いたい。

#### 県大ってこんなところ！ 県大生ってこんな人！ in summer

代表者：文化創造学科  
田所 春香

山口県立大学の基本理念の一つである「地域社会との共生」をもっと充実させるために、まずは地域の子ども達と県立大学の学生が様々な方法で触れ合うことで、大学と地域が親密な関係を築く架け橋になってもらう。また、子ども達にだいがくというものに触れてもらい、将来県立大学を受験しようと思うきっかけを提示する。

#### Halloweeeeeen!! ～ Jack-o' —Lantern と Trick or Treat ～

代表者：文化創造学科  
河島 萌

- ・県立大学と宮野地域の人々（小学生）が、かぼちゃランタン作り、仮装行列、パンプキンパイの制作（かぼちゃランタンでくりぬいた中身を再利用）といったイベント（30人程度）を共に行って楽しむことで、より交流を深めることを目的とする。
- ・異文化であるハロウィンについて知ること。
- ・ハロウィンについて事前に学習し、仮装行列をしている中で参加者に発表する。

#### 笑顔でつながるプロジェクト

代表者：文化創造学科  
永瀬 由季

宮野地域の人・学生・先生の“笑顔”の写真を撮り、1000人の“笑顔”を集め1つのアートにし、華月祭で展示する。写真を撮る際の繋がり、写真と写真の繋がり、アートを見に来てくれた人との繋がり、3つの繋がり」をコンセプトとする。“笑顔”の持つ力で宮野を元気にする。

### B 部門

該当なし